

清水貴之 しみず たかゆき 活動報告



発行：参議院議員 清水貴之事務所 〒662-0916 兵庫県西宮市戸田町4-23-202 / 電話：0798(24)2426 / FAX：0798(24)1942

～10月31日投開票の衆議院選挙を終えて～ 日本維新の会への応援ありがとうございました！

2021年10月31日、第49回来議院議員選挙が行われ、日本維新の会は全国で41議席を獲得することができました。兵庫県選出衆議院議員においては9議席（小選挙区当選1人、比例代表当選8人）、県内の候補者を立てた全ての選挙区で全員が当選を果たしました。また兵庫県内の比例票は、779,820票と、党派別では1番多くの得票数をいただきました。

前回2017年の衆議院選挙では、候補者を立てた4選挙区の平均得票率は17.6%でしたが、今回、9選挙区の平均で29.6%まで伸ばすことができました。

改めましてご支援をいただいた全ての皆さまへ、心からの感謝を申し上げ、引き続き「維新の改革」を県内、更には全国に着実に広めていけるよう、約束を実行する姿勢を貫いて参ります。今後も是々非々で政策に取り組み、兵庫の皆さんと更なる県政の成長・発展の可能性を広げていきたいと思えます。そのための次なる目標は、兵庫県内の首長選挙での勝利。来年行われる西宮・尼崎市長選などに挑戦し、改革の実績を積み上げていきます！



11月10日 衆議院議員 初登庁 ～9人の当選議員と一緒に～

私、清水も兵庫県内をくまなく回り、担当ブロックの東海や北陸地方の応援に駆け巡りました！

10月19日の衆議院議員選挙公示日の日から、兵庫県内はもちろんのこと、担当の東海ブロック、以前担当していた北陸ブロックの仲間の応援に入りました。兵庫県内を候補者の車に乗り込み、駅前での街頭演説、政党車で遊説活動、候補者との練り歩き、時には自転車街宣で走り回りと、兵庫県内各地にくまなく足を運び、兵庫の皆さんに政策を訴えました。

東海・北陸ブロックでは、静岡、愛知、岐阜、富山・石川・長野などの応援に入り兵庫県などと合わせ計22陣営（兵庫9、その他13）でマイクを握りました。

東海ブロックでは2名、北陸ブロックでは1名が当選を果たすことができました。

兵庫では



街宣車にてマイクを持ち



駅では呼びこみも



自転車街宣にも同行しました



6区いちむら浩一郎候補と阪急伊丹駅前にて



7区三木けえ候補と西宮ガーデンズ前で

松井代表・吉村副代表が兵庫県内にも、連日応援に駆けつけ、最終日も朝から夕方まで熱弁をふるってくれました！

兵庫以外では



岬まき候補と街宣車で



杉本和巳候補と一宮駅にて



吉田豊史候補と街頭演説

兵庫の比例代表 党派別得票数

党派	票数	比率
維新	779,820	32.07
自民	666,068	27.40
立民	324,792	13.36
公明	297,967	12.25
共産	151,090	6.21
国民	73,463	3.02
れいわ	79,532	3.27
社民	28,456	1.17
N党	29,737	1.22
計	2,430,925	100

維新の呼びかけで国会改革が前進!

2021

日本維新の会



文書通信交通滞在費問題にメスが入りました

維新の新人議員の提言で、1日の任期のみだけで100万円満額支払われた文書通信交通滞在費いわゆる「文通費」の問題が明るみに出てきました。これまで「文通費」問題を黙認していた自民党や立憲民主党は、日割り支給にする法改正で合意していますが、日割りでごまかせる問題ではありません。本質的におかしいところは、毎月100万ものお金が使途の公開や領収書の添付の必要がないということです。民間企業であれば、領収書のない経費精算は認めないのが当たり前ではないでしょうか。本来は経費なのに、飲食や旅行など何にでも使える文通費は国会議員のポケットマネーと批判されています。

維新は2014年分以降、所属議員ごとの文通費の報告書を領収書添付にてホームページで公開しています。ポケットマネーとして懐に入るお金がないような仕組みを取り入れ、徹底した透明化を図っています。

国会の非常識は他にもあります。

- ✔ 衆議院議員465名に対し138台、参議院議員242名に対し、それぞれ運転者付の100台の公用車、その額年間約20億円
- ✔ 議員1人あたり月65万円支給される立法事務費の存在
- ✔ 年に数回しか開催がない委員会の委員長手当が6,000円/日
- ✔ 東京の一等地にある家賃45,000円～の格安議員宿舎
- ✔ 上限59,290円という用途自由な海外視察のための支度料
- ✔ ペーパーレスが進まない年間4億もの書類印刷費

税金が使われるからには、金額が妥当であるかの精査はもちろんですが、使い道を厳選し、政治資金の流れを透明化した上で、国民が納得できる使い方をすべきだと思います。日本維新の会は、今後も更なる国会改革を進めて参ります。

▲これが文通費の支払明細書(現物)です!
個人の口座に、課税されることもなく、月に2回50万円ずつが振り込まれます

維新が実現を目指す政策とは!

維新八策はこちらから▶



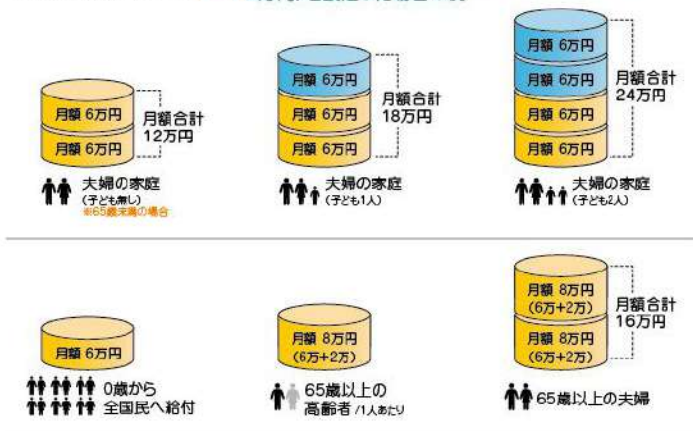
挑戦する人たちを後押しする チャレンジのためのセーフティネット

ベーシックインカムの導入

▶ 給付付き税額控除またはベーシックインカムの導入を提唱
0歳からすべての国民に対して、一律に現金を給付する「最低所得保障」と呼ばれるベーシックインカムを推進し、毎月1人あたり6~10万円の給付額がいきわたるセーフティネットを構築。このセーフティネットを基軸とした年金、生活保護などの社会保障制度改革の推進

経済成長と格差解消に向けてのグレートリセットを実現する社会を目指す

BI給付額について 例 日給付額を、仮に一人当たり月額6万円(高齢者プラス2万円)と設定した場合の例



時代に適した今の憲法へ

変えるべき憲法と守るべき伝統

- ▶ 教育無償化・統治機構改革・憲法裁判所の設置を憲法に明記
教育の全過程について完全無償化を憲法上の原則として定め、給食の無償化と大学改革を併せて進めながら国に関連法の立法と恒久的な予算措置を義務付ける
- ▶ 憲法9条改正や緊急事態条項設置についての積極的な検討と議論の先行
緊急事態における行動制限などの人権制約のあり方について、具体的な制限事由の議論をする必要性の提唱

憲法調査会の活性化を目指すため、各党に具体的改正項目を提案し、維新が国会の改憲議論をリード

中央集権から脱却し、 地方が決める自立分散型社会へ

統治機構改革によるコロナ感染症対策の向上

- ▶ 大阪で成功したコロナ感染拡大・収束の独自指標である「大阪モデル」のような新たな都市像の提案
- ▶ 緊急時給付迅速化法案の実施
コロナ感染症対策の自治体の遅れを防ぐため、大規模災害やコロナ感染症事態など緊急支援が必要な際に、マイナンバーを活用し、銀行口座と紐付けすることで、迅速に給付金を支給

地方への権限移譲を推進し、多極分散型社会を実現

清水貴之(しみずたかゆき)

昭和49年6月29日福岡県生まれ。早稲田大学教育学部を卒業後、朝日放送にアナウンサーとして入社。「おはようコールABC」のメイン司会を9年間務める傍ら、関西学院大学大学院にてMBAを取得。維新政治塾一期生。平成25年7月の参院選において初当選。令和元年7月573,427票にて再選。現在2期目。

【所属委員会】法務委員会、ODA特別委員会、行政監視委員会

【党役職】政務調査会副会長、国対副委員長



Instagramも是非フォローしてご覧ください!魅力溢れる兵庫県のステキな場所、オイシイものをご紹介します!



takayukishimizu_hyogo